

豊中市議会議員(市民派・無所属)

**福岡まさき**

平成21年10月 後援会事務局発行 市政だより

九月定例会

**「政権交代」実現！豊中市政をどう変えるのか？**

ついに！

第45回衆議院選挙において民主党が地滑りの勝利を収め政権交代が実現しました。これまでの自民党を中心とする政権運営から民主的手続きにより本格的な「政権交代」が実現したことは、日本の民主主義の歴史では大きな出来事です。

この国を戦後の廃墟から復興させた自民党と官僚の功績は認めつつも、ここ数年国民を惨憺たる閉塞状況に陥れ、不安を与え続けた罪も重いといえます。

**がんばれ 新政権！**

政権政党となった民主党は、マニフェストの中で税金のムダ使い、天下り、年金問題、地域主権、脱官僚政治など、国民から高い評価を受けたものもあれば長年の野党体質からか首をかしげたくなる政策があるのも事実です。

それでも民主党が圧倒的多数の議席を与えられた背景には、前政権に対する嫌悪感とともに、未知数故の不安はあるが、それでも現状を変えたいとする国民の悲痛な叫びがあります。

新政権には、真に国民が何を求めこの国の将来に何を期待しているかを再検証し、孔子の言葉にもあるよ

うに「過ちては改めるに憚ることなかれ」と度量の大きいところも見せてほしいものです。



**豊中市も  
同じ視点で  
「最大の努力！」**

豊中市政は、新政権が打ち出したムダの排除、地域主権、環境対策など、まずは同じ視点で取り組める施策の連携で結果を出すことが求められています。

そのことが「市民福祉の向上」や「市政の発展」に寄与する事であり、議員の使命だと確信しています。

(議会での関連質問はP2、P4)

**「新政とよなか」議員団控え室**

〒561-8501  
豊中市中桜塚3丁目1番1号  
TEL 6858-2620 (直通)  
FAX 6852-2384

**自宅**

〒560-0082  
豊中市新千里東町2-7 C27-1109  
TEL 6833-7705  
FAX 6831-1281  
E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp

**ホームページもご覧ください**<http://www.fukuokamasaki.com>

(ヤフー又はグーグルの福岡正輝で検索)



※日常の活動や政治信条、市政の裏話など報告しています。  
また、「市政だより」に掲載できない詳細部分はブログで公開しています。

# 9月議会「福岡まさき」の提案

新政権が国連で表明した環境対策より以前から豊中市は、CO2(二酸化炭素)削減目標を2050年に1990年比70%削減としており、地球温暖化防止の先進的取り組みを実施しています。

## 《エコ電球の推進》

○市の施設や街灯(防犯灯)をLED(発光ダイオード)照明やエコ電球の採用により、年間億単位の電力料金削減、長寿命化による維持管理コストやCO2の大幅な削減が可能となります。

※市はすでに新千里東町公園の一部に設置しており今後の導入拡大の検討に入りました。

## 《カーシェアリングの導入》

○国の全額補助により、今年11月頃から千里中央駅で(※)カーシェアリングのモデル事業が実施されますが、導入車両を予定しているガソリン車ではなく

「低公害ハイブリッド車」や「電気自動車」に切り替えるよう要請したのに対し、市は実現のため努力することを約束しました。

○市が主導権を取ってカーシェアリングの拡大普及に努めること。例えば、マンション開発等の事業において「カーシェアリング」を導入することで過剰な駐車場設置義務から解放され、分譲価格の低下や維持管理費の縮減が可能となる行政指導を進めるよう提案しました。

※カーシェアリング…車にかかる維持費をみんなで分担し、利用時間に応じて料金を負担するため一人当たりの負担は大幅に削減され、普及すると社会全体の車の減少とCO2の削減や渋滞の解消に役立つ。

①「環境問題」への取り組み



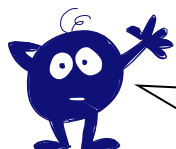
## ②市の持つ「経営資源」の有効活用を

現在、市の施設には89台の自販機があり、そのほとんどを職員厚生会や特定の福祉団体が独占し既得権化しています。私はこの現状を見直し、市民の財産である市の施設にある自販機は、公募入札方式を導入することにより効率アップの実現と市の財政再建に役立てるべきと提言しました。

さらに全施設を見直し、新たな設置や効率的配置を図ることにより、利用者の利便を図ることを提案。

また、特定の福祉団体が独占している分についても、公平・公正の見地から市が全体の利益をプールし、福祉施策として幅広く支援することが必要だと指摘しました。

こうした指摘に市は、新たな設置も含め全面的見直しを検討すると答弁しました。



◆市民の財産は **公平・公正に!**

## ③少路高校 跡地は学校として

今年3月で廃校となり東豊中高校へ統合された少路高校は、千里青雲高校として再出発しました。

少路高校の跡地を大阪府は、財政再建プログラムにより、一般競争入札による売却方針をとってきました。

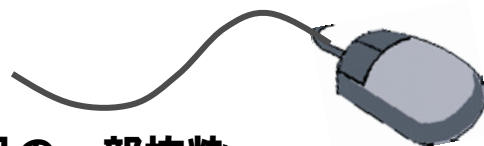
私と所属する「新政とよなか議員団」はこの案に反対し、対案として「学校として残せるよう」市を通じて大阪府に働きかけてきました。その結果、府は学校法人に限定した入札を実施することを決定。

### 《その効果は》

- ①私学の誘致により、公教育が刺激を受け真の教育文化都市再生に生かせる事。
- ②少路高校開校時に学校だからと協力いただいた地権者に責任を果たせること。
- ③逆にマンションが建設された場合は、7~800戸建つことで周辺校区の負担や混乱、街並み景観の阻害要因となる。



# 「いろいろブログ」



## 10/7 国交大臣に要望書

大阪国際空港の活性化に取り組んできた「新政とよなか議員団」は、中野寛成代議士を通じ5日、前原国土交通大臣に要望書を提出しました。

関空と比較すると圧倒的利便性を有し、関西経済復権の重要案件である「大阪国際空港活性化」は、わが豊中市にとっても「空港を活かしたまちづくり」や税収効果の面でも大きな課題です。

経済の原理原則や利便性を無視して作り続けた100近い全国の空港の大部分は赤字です。こうした誤った航空行政の犠牲となったのが日本航空の経営悪化問題。(原因はこれだけではないが…)

こうした中、数少ない黒字経営と利便性を活かし、北海道、沖縄への増便や近距離国際線、国際チャーター便などの復活を国交大臣に要望しました。おりしも、低騒音、低燃費の高評価を受ける三菱MRJが米航空会社より大量受注しました。

この国産中型ジェット機就航が騒音問題の対策にもフォローの風となるのは確実です。

## 6月～10月の一部抜粋

- 6月23日 … 「拉致被害者家族」の叫び
- 6月26日 … 千里ニュータウン再生
- 7月20日 … 賑わい創出に妙案はあるか
- 7月16日 … 「心地よい居場所」づくり
- 7月14日 … 「まつり盛り上げ隊」
- 8月10日 … 尊敬する先輩との別れ
- 9月13日 … 「環境フォーラム」出席
- 10月8日 … 「大林素子杯」開催日時決定

## 8/18 「千里音頭」復活

和太鼓クラブ「八鼓」と地域の有志で取り組んだ「千里音頭」がセルシー納涼祭でお披露目の機会を得た。スポーツは何でも好きだが、踊るのはどうも???

しかし、練習には休まず参加し毎朝曲を流し、密かに特訓をしたにもかかわらず、「ロボットのようだ」と妻が笑う。

そんな屈辱にも耐え、セルシーの舞台にデビューとなり、ロボットだろうが、とりあえず皆で楽しく踊ることができた。

これを機に地元の人ならだれでも踊れ、地域社会に対する帰属意識を深められるものになればと期待を込めて「乾杯!」。この一杯のおいしかったこと……。

## 6/23 「拉致被害者家族」の叫び

豊中青年会議所が「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」前会長の横田 滋さん早紀江さんご夫妻を招いて実施したもので会場の千里阪急ホテルには満席となる600名が参加。

この講演の中で横田ご夫妻は手塩にかけ大事に育ててきた愛娘を突如誘拐され今日に至るまでの苦しみを話されました。(中略)

平和な民主主義国家において突如他国の工作員に国民が拉致され、なすすべのないこの国の現状に大きな不安が影を落とします。また、北朝鮮の仕業だとほぼ認定されてからも動こうとしない国、とりわけ一部政党の北朝鮮擁護の言動は誰のための国会議員かとなさけない思いがしていました。

今回の講演をとおして拉致被害者救出のため国民的関心と運動を展開することが大切だと改めて痛感。

まだまだ皆さんに伝えたいことがいっぱいあります。これからブログを通じて、日頃の活動や思いを綴っていきますので、ぜひご覧ください。また、ご意見などお待ちしております。



# 千里周辺での取組と今後の動き

## 「地域コミュニティ」モデル調査

今回の総選挙の結果、地方分権、地域主権の流れが加速することになります。地域のことは地域が一番よく分かっている。この当たり前のことを政治で実行するのが「地域主権」の考え方です。豊中市では07年4月に自治基本条例を施行し取り組んできました。

市民と行政の協働による「地域主権」に取り組むには、地域コミュニティの熟度や地域自治の経験度合が試されることとなります。

市では地域の実態を詳細把握するため「フィールド調査」と称して新千里東町での調査を実施しています。この地域では「地域主権」の考え方のもと、10年以上前から「まちづくり」に取り組み、多くの成果をあげています。

こうした活動事例を全市に拡大普及することが大切ですが、市はそれぞれの地域事情や実態を正確に把握することが重要です。そのためにも市の職員はできるだけ地域に入り現場主義を貫き「地域を熟知したプロ」を育てるよう要請しました。

## 地域からの要望 着々と実現

- ◇千里文化センター(コラボ)の安全対策  
「コラボ」入口階段の手すり、階段照明、階段かどの色表示(黄)が実現し、使いやすく安全になりました。
- ◇千里中央バイク置場(増設)  
千里中央でのバイク置き場増設の要望を受け大丸プラザ東側に完成しました。
- ◇新千里東町(メゾン管理等前)安全対策  
「メゾン千里」管理棟前の交差点に、出会い頭での事故や危険防止のため「安全対策」の要望を受け、カーブミラー、交差点表示、「自発光道路釘」が3点セットで完成。
- ◇各地の今年度道路改修工事(計画含む)  
道路や舗道の改修舗装が今年度中に実現。  
  
上野新田線(南町)歩道改修工事(完了)  
新千里2号線(リバーガーデン南)改修舗装  
新千里5号線(西町近隣センター東)改修舗装

## 災害時こそ、地域の連携!

10/8 深夜、吹き荒れた大型台風18号は、市内のあちこちに傷跡を残しました。

早朝、市民の素早い通報のおかげで、市との連携、現場



「こぼれび通り」の素早い復旧作業

の連携、現場の安全確保、倒れかかった大木の処理、午前10時には何事もなかったように完全復旧しました。(感謝)

## ・言いたい放題・

「政権交代」が実現し、鳩山内閣が本格的に動き始めました。首相自ら国連でのCO2削減宣言や「脱官僚依存」、各閣僚からも前政権との違いが矢継ぎ早に打ち出され、「この国を変えよう」とする大きなうねりが感じられます。

そうした中で、308議席という圧倒的民意を得ながら、参議院でのねじれ対策で打ち出された3党連立政権の危うさも露呈しています。

亀井大臣(国民新党)の「モラトリアム法案」千葉法相(社民党)の北朝鮮拉致犯釈放署名など、政権のアキレス腱となりかねない。弱小政党の生き残りパフォーマンスや議員資質を問われる行動が、健全な二大政党による「政権交代」の芽を摘まねばいいのだが……